

令和 7 年度 すながわ高等支援学校
就労に関するアンケート(3年め) 集計結果

＜対象＞ 令和5年3月卒業生（7期本校生）14名の就労先企業に依頼。回収14社（100%）
※卒業時19名が企業就労うち5名が退職し、現在14名が継続して就労。

＜実施期間＞令和7年5月14日（水）～6月20日（金）

＜集計方法＞

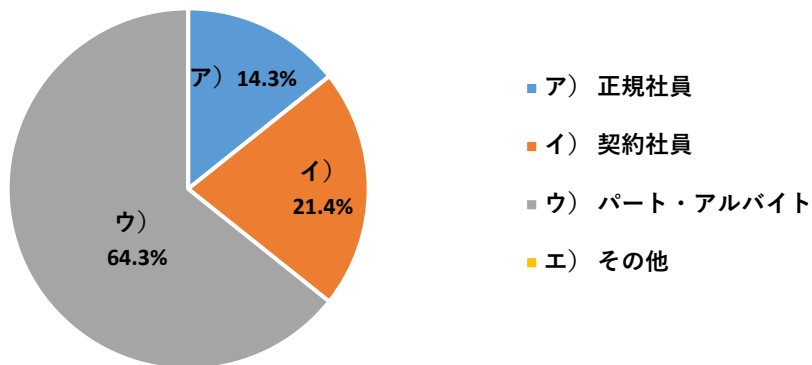
- ・各質問に対する回答を1点として得点化。
- ・複数回答可の質問は、それぞれの回答につき1点とする。
- ・合計得点の割合をグラフ化。

＜入社後の様子について＞

設問1 卒業生の現在の雇用状況について教えてください。

回答	回答数	%
ア) 正規社員	2	14.3%
イ) 契約社員	3	21.4%
ウ) パート・アルバイト	9	64.3%
エ) その他	0	0.0%
合計	14	100%

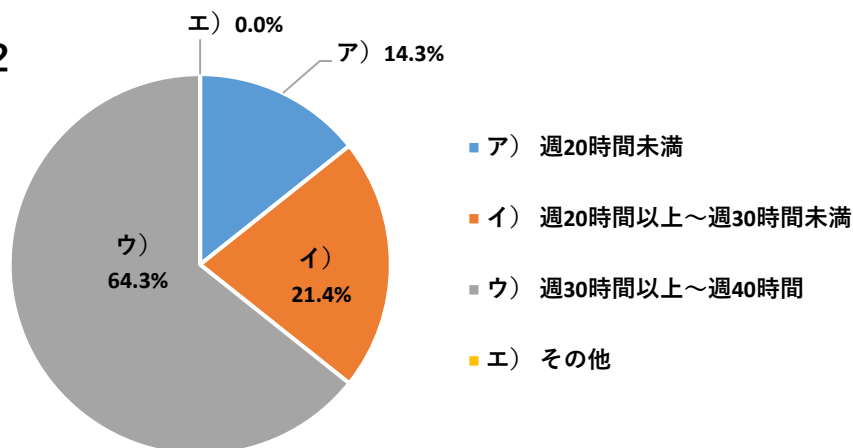
設問 1



設問2 卒業生の現在の所定労働時間(1週間)について教えてください。

回答	回答数	%
ア) 週20時間未満	2	14.3%
イ) 週20時間以上～週30時間未満	3	21.4%
ウ) 週30時間以上～週40時間	9	64.3%
エ) その他	0	0.0%
合計	14	100%

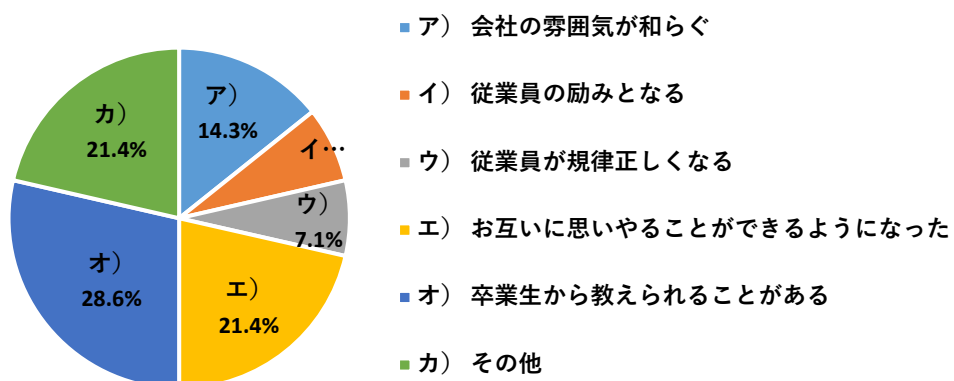
設問 2



設問3 すながわ高等支援学校の卒業生を採用してよかった点を一つ選んでください。

回答番号内容		回答数	%
ア)	会社の雰囲気が和らぐ	2	14.3%
イ)	従業員の励みとなる	1	7.1%
ウ)	従業員が規律正しくなる	1	7.1%
エ)	お互いに思いやることができるようになった	3	21.4%
オ)	卒業生から教えられることがある	4	28.6%
カ)	その他	3	21.4%
合計		14	100%

設問 3



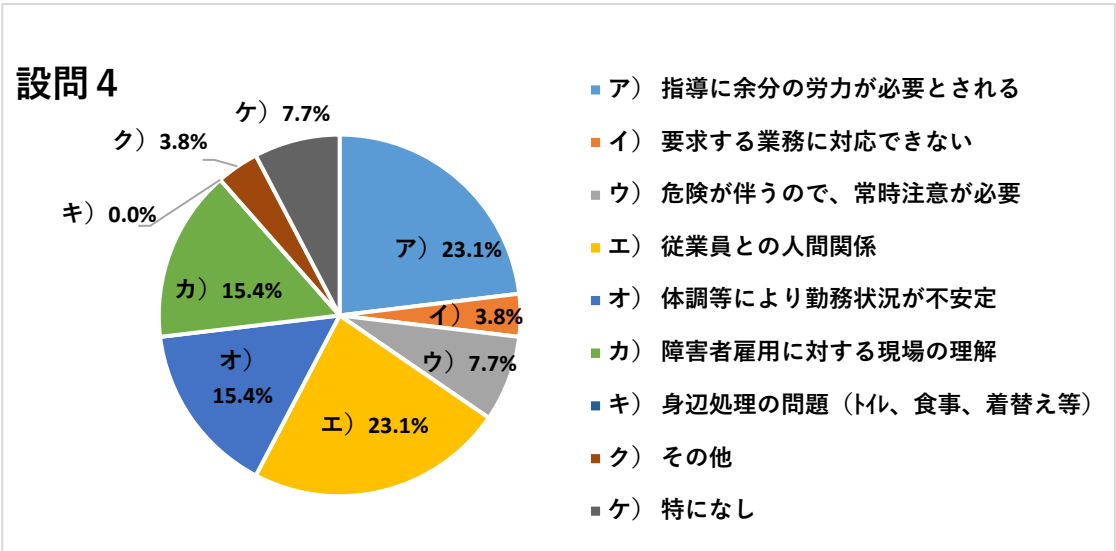
※カ) その他の内容

1店舗に複数の卒業生がいる訳ではないため判断できない。

戦力として活躍できる。

設問4 卒業生の職場定着支援を行う上で、職場で課題となった点を選んでください。（複数可）

回答	回答数	%
ア) 指導に余分の労力が必要とされる	6	23.1%
イ) 要求する業務に対応できない	1	3.8%
ウ) 危険が伴うので、常時注意が必要	2	7.7%
エ) 従業員との人間関係	6	23.1%
オ) 体調等により勤務状況が不安定	4	15.4%
カ) 障害者雇用に対する現場の理解	4	15.4%
キ) 身辺処理の問題（トイレ、食事、着替え等）	0	0.0%
ク) その他	1	3.8%
ケ) 特になし	2	7.7%
合計	26	100%



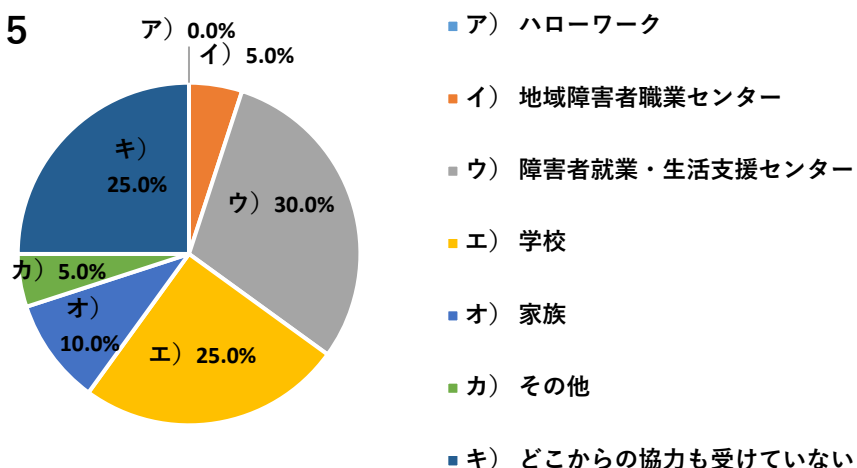
※ク) その他の内容

日常的に精神面体調面で不安定

設問5 入社後、卒業生の職場定着支援について会社側から協力を求めた機関があれば教えてください。（複数可）

回答	回答数	%
ア) ハローワーク	0	0.0%
イ) 地域障害者職業センター	1	5.0%
ウ) 障害者就業・生活支援センター	6	30.0%
エ) 学校	5	25.0%
オ) 家族	2	10.0%
カ) その他	1	5.0%
キ) どこからの協力も受けていない	5	25.0%
合計	20	100%

設問 5



※ク) その他の内容

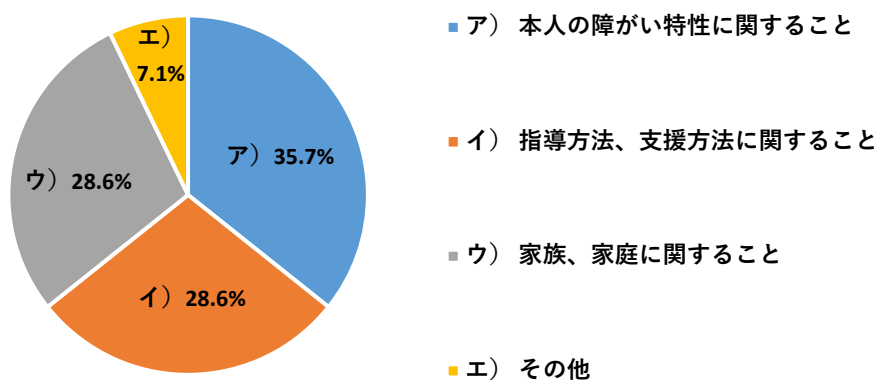
相談支援事業所

設問6

設問5でア)～カ)を選択された方のみ回答してください。
支援機関に協力を求めた内容について選んでください。(複数可)

回答	回答数	%
ア) 本人の障がい特性に関すること	5	35.7%
イ) 指導方法、支援方法に関すること	4	28.6%
ウ) 家族、家庭に関すること	4	28.6%
エ) その他	1	7.1%
合計	14	100%

設問 6

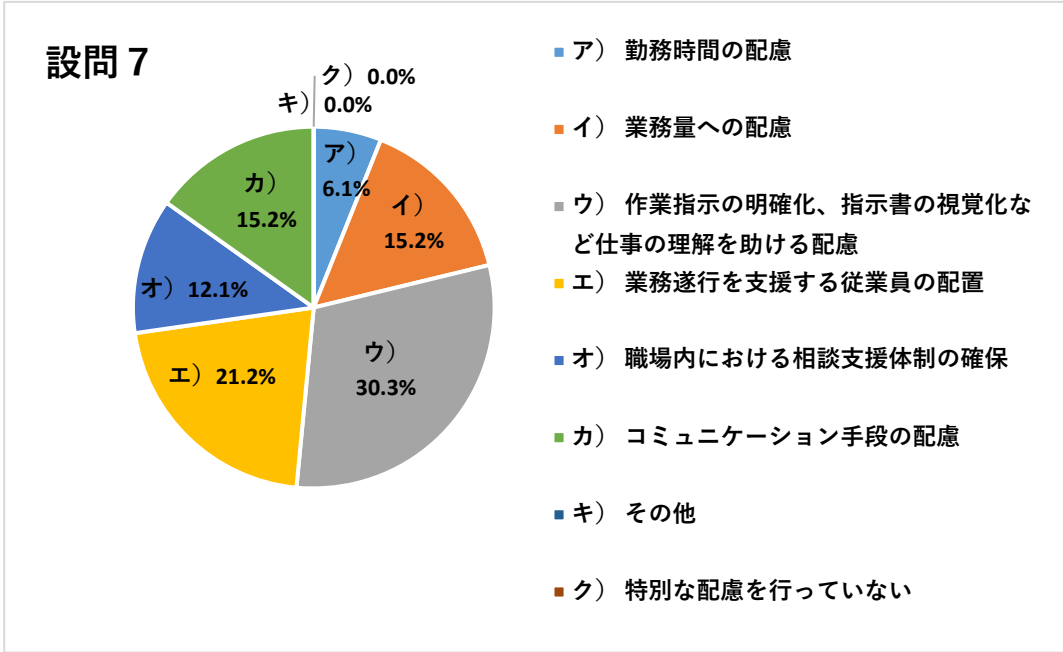


※エ) その他の内容

情報共有として

設問7 卒業生を雇用する中で、職場で行った配慮や工夫があれば教えてください。（複数可）

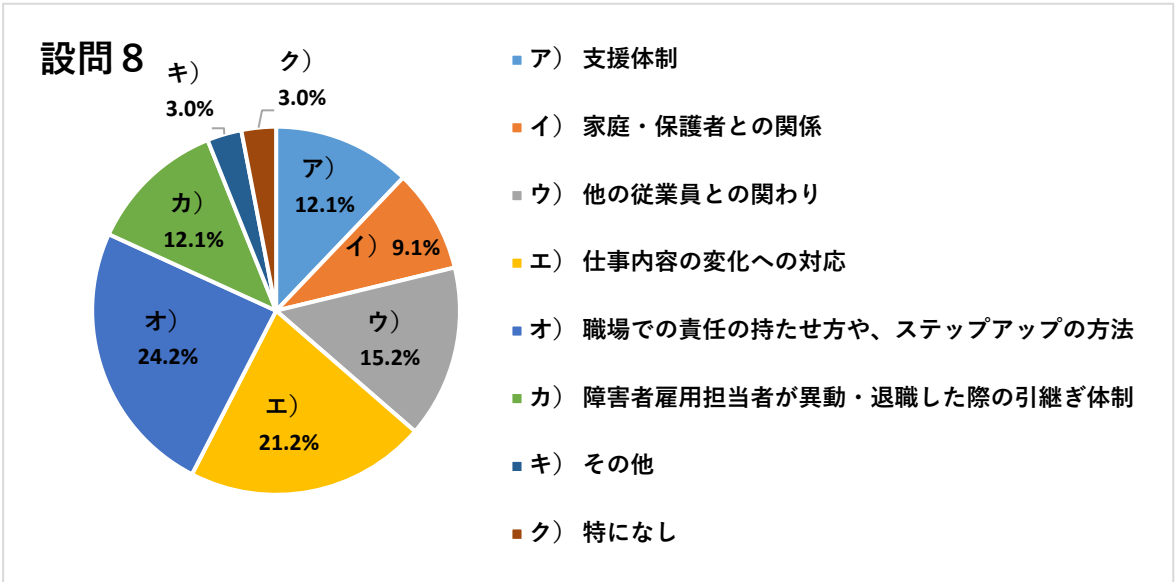
回答		回答数	%
ア)	勤務時間の配慮	2	6.1%
イ)	業務量への配慮	5	15.2%
ウ)	作業指示の明確化、指示書の視覚化など仕事の理解を助ける配慮	10	30.3%
エ)	業務遂行を支援する従業員の配置	7	21.2%
オ)	職場内における相談支援体制の確保	4	12.1%
カ)	コミュニケーション手段の配慮	5	15.2%
キ)	その他	0	0.0%
ク)	特別な配慮を行っていない	0	0.0%
合計		33	100%



設問8 卒業生の雇用を継続していくにあたって、今後心配なことを教えてください。(複数可)

回答		回答数	%
ア)	支援体制	4	12.1%
イ)	家庭・保護者との関係	3	9.1%
ウ)	他の従業員との関わり	5	15.2%
エ)	仕事内容の変化への対応	7	21.2%
オ)	職場での責任の持たせ方や、ステップアップの方法	8	24.2%
カ)	障害者雇用担当者が異動・退職した際の引継ぎ体制	4	12.1%
キ)	その他	1	3.0%
ク)	特になし	1	3.0%
合計		33	100%

※キ) その他の内容
 体調・精神面の安定

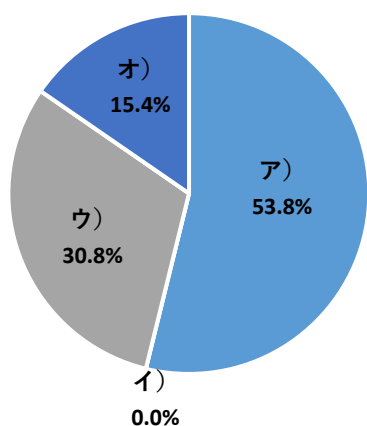


<障害者雇用について>

設問9 障害者雇用について、今後の予定をお聞かせください。

回答		回答数	%
ア)	積極的に雇用したい	7	53.8%
イ)	法定基準を満たすように雇用したい	0	0.0%
ウ)	社内の受入体制が整えば雇用したい	4	30.8%
エ)	今後雇用する予定はない	0	0.0%
オ)	未定	2	15.4%
合計		13	100%

設問 9



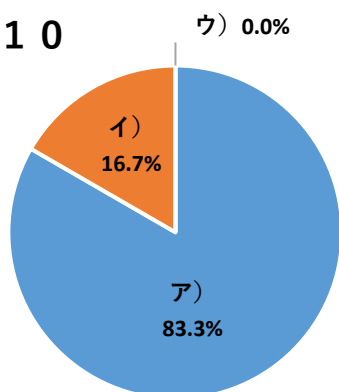
- ア) 積極的に雇用したい
- イ) 法定基準を満たすように雇用したい
- ウ) 社内の受入体制が整えば雇用したい
- エ) 今後雇用する予定はない
- オ) 未定

設問10

今後も継続してすながわ高等支援学校からの現場実習を受け入れたいと思いますか。

回答		回答数	%
ア)	積極的に受け入れたい	10	83.3%
イ)	依頼があれば考えたい	2	16.7%
ウ)	受け入れたくない	0	0.0%
合計		12	100%

設問 1 0



- ア) 積極的に受け入れたい
- イ) 依頼があれば考えたい
- ウ) 受け入れたくない

自由記述欄(卒業生の近況や、本校の進路指導や障害者雇用に対するご意見等、自由に記述してください。

いつも大変お世話になっております。真面目で仕事熱心で、他従業員の良きお手本になっています。今後ともよろしくお願いいたします。
無断欠勤等もなく、規律を守って日々の業務に頑張ってくれています。まじめに働く姿に私たちが見習うべきところもたくさんあると感じています。
当該の社員は、年明けから心身のバランスを崩し、適応障害の診断により本年4月4日から休職に入っています。休職期間は6ヶ月(10月3日まで)ありますが、休職前の状況に鑑みこの期間で寛解する見込みは薄いと思われ、休職期間満了で退職になる可能性が高いのではないかと懸念しています。 職場としては色々と相談にも乗り対応していたつもりですが、力及ばずで、とても残念です。
店舗にヒアリングを実施した結果をもとに記入させていただいております。 内容に不備があればご連絡いただければ幸いです。
卒業生の方は皆さん素直で前向きな方がほとんどです。2・3年、当事業所で訓練されたのち、一般就労で活躍されています。今後もステップアップされたい方は是非来てください。
大変お世話になっております。今後ともよろしくお願いいたします。
他の社員とも積極的にコミュニケーションを取っていて、社内の雰囲気によくなじんでいると思います。受け入れや仕事に対する取り組み姿勢は年々向上していると感じています。
当の卒業生は、現在は問題なく勤務して頂いています。貴校からの実習受け入れ・採用については積極的に行いたいと考えております。
3年目の卒業生は4月から勤務地が変更となり、少し戸惑いを見せながらも新しい仕事に積極的に取り組んでくれています。 (順調です) 今春入社した1年目の卒業生も順調に社会人としてのスタートを切ってくれています。(まだ緊張感は抜けませんが、極めて順調です) 貴校の卒業生が弊社で活躍していただけている背景としましては、ご縁がなかった実習生も含めて進路指導の先生方が弊社側の職場環境、メンバーの特性、業務内容をしっかり把握された上で実習生徒を推薦いただいているという点が大きいのではないかと感じています。 今後も進路指導の先生方としっかりコミュニケーションをとらせていただくことによって、よりミスマッチの起こりにくい就労体制を整えていきたいと考えています。
仕事の流れをすっかり把握していて、周りの状況等、確認しながら先輩らしく後輩を指導してくれています。 毎日、明るく元気一杯に仕事して、皆とも仲良く協力して仕事しています。
入社から2年がたち、よく頑張ってくれていると思います。 この4月からは新たに調理補助(仕込みなど)の業務にも挑戦しているので、引き続き頑張ってもらいたいです。